

達古武地域における森林再生 ベースマップの作成と保全・再生優先度の検討 (10/10)  
6. エゾシカの痕跡調査と分布密度 - その他の調査から -



1月及び2月に冬季の哺乳類の分布の調査を行なった。食跡・足跡・糞などの痕跡の量を森林調査の地点別に記録した。  
動物の分布の基礎資料であると共に、野生動物による植栽した樹木への影響を予測するデータとなる。

エゾシカの痕跡



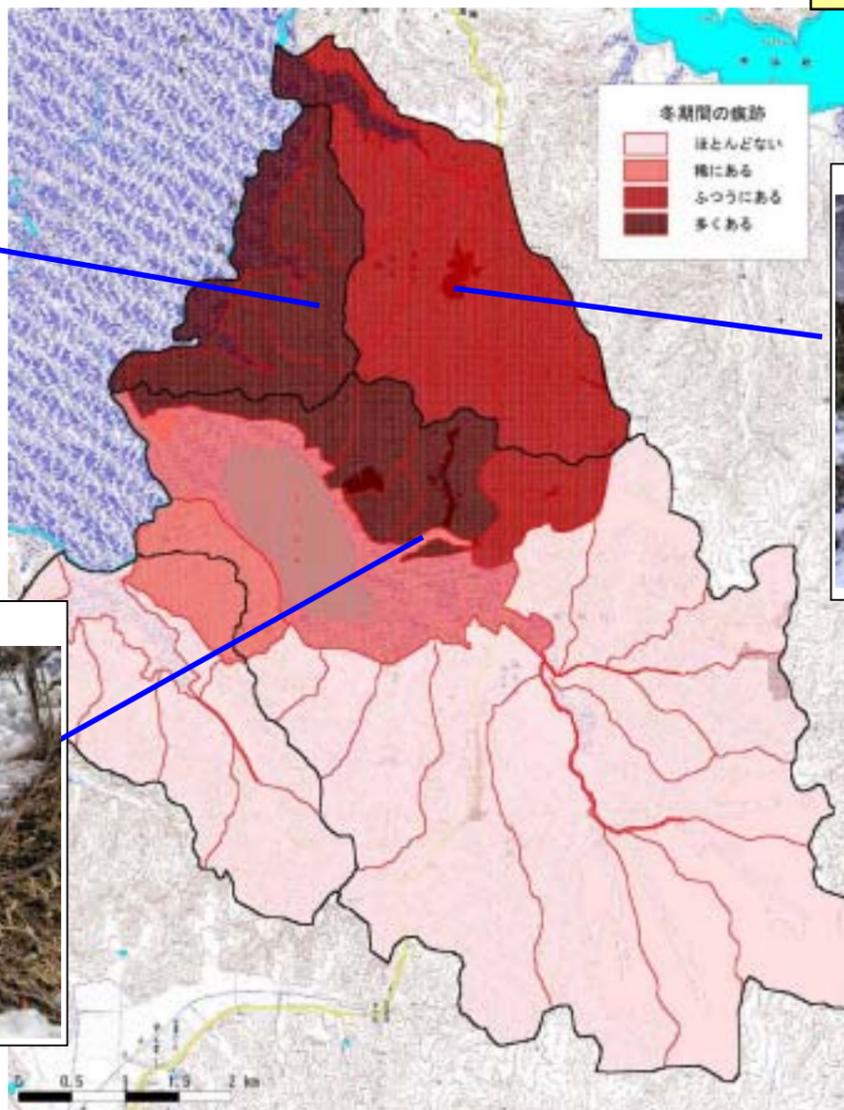
エゾキウサギの痕跡



哺乳類調査の項目と結果の例

地点番号	34	35	40
調査面積	40×20	40×20	40×30
糞塊数	0	1	0
糞粒数	0	5	0
足跡密度	7~12本ぐら い	数えられないく らい多い	1本のみ(1回の 移動)
利用状 況	複雑に交錯し ており、滞在 利用している	複雑に交錯して おり、滞在利用 している	移動(離れジ カ?)
食痕	なし(自立た ない)	ハルニレの樹皮 食いが見られる	なし
エゾヤチネズミ の痕跡	なし	なし	なし
エゾキウサ ギの痕跡	なし	なし	1本道あり(新 しい)
備考	雌シカ・成・2 道路脇だが低 木多く、体隠 しやすい。	移動のための直 線的な足跡と、 滞在したときの 足跡が混在す る。	シカの利用はほ とんどない(全 くないわけでは ない)。少し離 れた所にキツネ の足跡1。ウサ ギの足跡多い。
調査日	2003/2/18	2003/2/18	2003/2/19

達古武地域における2月のエゾシカの密度分布



地点52 被食された植栽木



地点44 被食されているミヤコザサ



地点33 樹皮食いされているハルニレ



結果

エゾシカの痕跡・群れは、達古武沼から北部にかけてで多く見られた。  
樹木の被食は全体的に多くなく、ミヤコザサの方が食べられている。